

訓 練 概 要

【 状 況 設 定 】

国内発生早期における県内初発生事例

- 新型インフルエンザが海外で発生している。国内のいずれかの都道府県で発生しているが、全ての患者の接触歴を疫学調査で追える状態。
- 奈良市内で、A国からの帰国者2名（夫婦）が帰国日の翌日から発熱し、帰国者接触者外来（市立奈良病院）を經由して感染症指定医療機関（奈良県立医大附属病院）へ患者を移送する。

【取材可能場面】

場面 時間帯	内 容	取材場所	取材対応
(1) 12:00～ 12:15	・発熱者が市立奈良病院帰国者・接触者外来に来院し、診察を受ける	市立奈良病院 (奈良市) 1階 帰国者・接触者外来（診察場面も撮影可。ただし、狭いので取材は1名で、三脚持ち込み不可）	市健康医療部 保健所
	・迅速検査でインフルエンザA型陽性判明 ・病院から市保健所に届け出 ・この間、市保健所、市消防局、県疾病対策課、奈良県立医大等で患者移送・受入調整		
(2) 13:00～ 13:40	・市立奈良病院に移送車が到着し、患者を収容して奈良県立医大感染症センターに移送 ・患者を移送後、市保健所が患者の家族へ接触状況等調査を行う		
(3) 14:30～ 14:40	・移送車が奈良県立医大感染症センターに到着し、患者を引き継ぐ	奈良県立医大 高度救命救急 センター前 (橿原市)	
(4) 15:10～ 15:40	・市保健所が奈良県立医大中央検査室で検体を受け取り、パトカーに同乗し、検体を保健研究センターへ搬送		

※ 記載した時間帯は、状況により前後することがありますので、予めご了承ください。

(撮影等の都合による行程変更は行えませんので、御理解をお願いします)

※ 市立奈良病院の指定区域外での取材はできません。

※ 奈良県立医大附属病院内へ進入しての取材はできません。